

人口推計

【加工指標】

【実施機関】

総務省統計局

【目的】

国勢調査の実施間の各月、各年の人口の状況を把握するために行うもの。

【沿革】

各月 1 日現在の人口の推計は、昭和 25 年（1950 年）国勢調査以降行われている。各年 10 月 1 日現在の人口の推計は、第 1 回国勢調査が行われた大正 9 年（1920 年）の翌年、大正 10 年から行われている。

【主な統計】

1) 各月 1 日現在人口

- ・全国推計人口（昭和 27 年 3 月～42 年 12 月）
- ・全国男女別の推計人口（昭和 43 年 1 月～52 年 8 月）
- ・全国年齢（5 歳階級），男女別の人口（昭和 52 年 9 月～）

2) 各年 10 月 1 日現在人口

- ・全国年齢（各歳），男女別人口（昭和 26 年～）
- ・都道府県年齢（5 歳階級），男女別人口（昭和 45 年～）

3) 国勢調査結果による補間補正人口

- ・全国各年 10 月 1 日現在男女別人口（大正 9 年～昭和 15 年，昭和 22 年～）
- ・全国各月 1 日現在推計人口（昭和 25 年 10 月～昭和 40 年 9 月）
- ・全国各月 1 日現在男女別人口（昭和 40 年 10 月～）
- ・都道府県各年 10 月 1 日現在男女別人口（大正 9 年～）

【概要】

1 概算値と確定値

各月 1 日現在の結果（全国、総人口）は当月の下旬に「概算値」が公表され、5 か月後に「確定値」が公表される。

各年 10 月 1 日現在の結果（「全国、年齢（各歳），男女別人口」及び「都道府県、年齢（5 歳階級），男女別人口」）は翌年 4 月に公表となる。

2 基準人口、遡及改訂

国勢調査による確定人口を基礎とし（基準人口と呼ばれる）、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て、毎月 1 日現在の人口（全国、総人口及び日本人人口）を算出する。現在の人口推計は、平成 22 年国勢調査による人口が基準人口である。平成 23 年 3 月 1 日概算値（22 年 10 月 1 日確定値）公表の時点で、一旦、平成 22 年国勢調査人口速報集計による人口が基準となり、22 年 9 月までの数字が暫定的に遡及改訂された。次いで、平成 23 年 12 月 1 日概算値（平成 23 年 7 月 1 日確定値）から、平成 22 年国勢調査による確定人口が基準となった。その際、平成 17 年 11 月～平成 22 年 9 月の各月 1 日現在の人口推計、平成 22 年 10 月～23 年 6 月の値が補間補正される。

3 基本的な考え方

総人口＝基準人口（総数）＋自然動態（日本人・外国人）＋社会動態（日本人・外国人）

日本人人口＝基準人口（日本人）＋自然動態（日本人）＋社会動態（日本人）＋国籍の異動による純増

* 自然動態＝出生児数－死亡者数

* 社会動態＝入国者数－出国者数

* 都道府県別人口は、社会動態に「都道府県間転入者数－都道府県間転出者数」を加算

4 算出に用いる資料

出生児数及び死亡者数 …… 「人口動態統計」（厚生労働省）

出 入 国 者 数 …… 「出入国管理統計」（法務省）

国 籍 異 動 …… 法務省資料

都道府県間転出入者数 …… 「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）

そ の 他 …… 「国勢調査」（総務省統計局）、「在留外国人統計」（法務省）

（平成 25 年 11 月更新）